

## 試験学習の取り組み方

### ～ 模擬試験や予想模試を活用すべき4つの理由 ～

試験数か月前になると会場で実施される模擬試験、自宅で試験体験をする模擬試験や予想模試などを活用する受験生も多いと思います。また、指導者側から模擬試験や予想模試を活用するように勧められることも少なくないと思います。

受験生の側面、指導者の側面の双方どちらの視点で捉えてみても、模擬試験や予想模試を活用すべきだといえます。模擬試験や予想模試を活用するデメリットとしては『他の教材に比べて若干値段が高い』くらいだと思います。

一方、メリットとしては主に以下の4つが挙げられます。

- ①最新の出題傾向に沿って問題を作成されている点
- ②法改正などの最新の情報が盛り込まれていることが多い点
- ③本試験に近い体験ができる点
- ④自分の得点から、合格に向けた現状をはっきりと確認できる点

①と②に関しては、問題作成者側の視点で捉えても、基本的に最新試験の出題傾向を分析してから問題を作成するので、教材の中で最も次回試験の出題予想をしやすい環境下で作業でき、さらに、作成期間中に新たな法改正情報などの最新情報が入り、試験問題として採用するかの可否も検討もしやすいというメリットがあるといえます。ただし、出版社等によっては、前年度版に掲載した問題を使いまわしていることがあります。別にその行為自体が悪いわけではなく、『重要で試験にでるから使いまわした』という理由なら全く問題ないと思いますが、ごく稀に使いまわしたことを隠そうとする行為をしている教材もあります。『そのような教材は買うな』とまでは言いませんが、自信のなさを感じるのを避けた方がいいかもしれません。

③に関しては、可能な限り1回は模擬試験をどこかの会場で受験することをお勧めします。試験の雰囲気を知り、試験当日のシミュレーションをするには実際に体験するのが一番です。また、自宅で疑似試験を実施する場合には、自宅だからといって膨大な時間をかけて問題を解いたら疑似試験の意味がなくなってしまうので、試験時間は絶対に順守してください。

④は、個人的に最も重要なメリットだと考えています。試験〇か月前に本試験に近い形で行った試験の得点は、現在の自分の実力を示す指標だと捉えることができます。自分にはあと何点必要かなど、自分の現状の立ち位置を確認できるので、それを基に学習時間を増やす、苦手科目に力をいれるなど、学習計画を再検討しましょう。そうすれば、より効果的な学習ができ、得点力アップにもつながるでしょう。

福祉試験対策工房&ぼぼ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku\_boboya

 fukusitaisaku\_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

